

# 「日没まえの宴」 小鷹啓章 HIRO52 千葉県

# 作品解説

コロナ禍による在宅勤務、しかも朝からの雨で気が滅入りそうななか、夕方になってふと外を見たら雨が上がり日が射してきた。これは!と思い、カメラー式を持って急いで菜の花台の展望台に上がったところ、光と雲による宴に出会うことができた。刻々と変わる姿をカメラに収めながら、自分の心も晴れていったのをよく覚えている。

# 自己紹介

フォトアドバイス社にお世話になり始めて8年になります。まったくの白紙状態からスタートした自分ですが、中村先生、故いつみ先生、村田先生、加藤先生のご指導のおかげで"伝える写真"が少しずつ撮れるようになってきました。これからも人を感動させる写真を目指して精進していくつもりです。

# 展示会に向けて

今回は東京・名古屋・大阪と、多くの方の眼に触れる機会を与えられたことに感謝し、また大変うれしく思っています。 撮った時と同じように、この写真をご覧いただいて少しでも明るい気持ちになっていただければ幸いです。



# 「釣りへ行こう」

坂口成宏 鉄男 宮城県

#### 作品解説

この写真を撮ったのは2021年10月23日、広角レンズ講座の作品提出期限の7日前でした。広角の特性を生かして、誇張効果、収束、パンフォーカス、ダイナミックな構図などを模索。左曲がりの防波堤が面白いなと思い、この場所と決めて構図を追い込み。早朝に何度も通って仕上げた作品です。手前の防潮堤のコンクリートが真新しい人工物ではありますが、この日は雲間から強烈な朝日が当たってくれて、良い色合いに染まってくれました。朝の光に助けられた1枚です。撮影場所:宮城県宮城郡七ヶ浜町の菖蒲田浜東日本大震災から10年、重たいコメントは抑えて、もう海へ遊びに行ってもいいじゃないか。という思いでこのタイトルです。三脚を立てて撮影しているあいだ、防潮堤は朝の散歩やジョギング、ルアー釣りの人達が行き交います。夏に撮り直すと、朝日が昇る位置が左の

方になり、少し違う構図で撮れると思います。PHOTODAYSで再び紹介したいです。

#### 自己紹介

カメラに興味を持ち、いろいろ調べて2020年6月に始めに買ったのが中古のRICOH GR II です。使い方、露出やカメラ用語も分からず、ネット検索しまくって自習、一番勉強になったサイトは、「一眼レフの教科書/PHOTOADVICE」 でした。自己流の変な癖が付かないうちに、ちゃんと学んだ方がいいなと思い、7月からPHOTODAYSに入り先輩方の写真に刺激を受けました。最初は上達講座DVDを繰り返し何度も見て自習していました。2020.8月~標準レンズ講座受講 / 2020年12月、一眼レフを持つ / 2021.9月~広角レンズ講座受講。最近は、マニュアル露出でスローシャッターを使って撮るのが面白くなってきました。あまり追い込むと苦しいので、ラクに楽しく。いろんな写真表現にチャレンジして、続けて行きたいと思っています。

# 展示会に向けて

この度はフォトアドバイス写真展に選出していただき有難う御座います。沢山の素晴らしい作品がある中で選ばれて大変恐縮です。もっと自己研鑽しないと、最近撮って出している写真は恥ずかしいです。在廊は未定ですが、1日は土日を使って行き、全作品を見たいです。 先輩方に会場でお会いできた際は、新入りをよろしくお願いいたします。



「ガザニア」

鷲田恵理 eriwashi 東京都

# 作品解説

構図入門の提出作品として取り組みました。黒い紙の上に花を1輪置いて撮るという課題で、黒い背景に合いそうな色のお花を選んで買いました。画用紙のグレーが出ないように光を抑えて露出を調整するのが難しかったです。アンダー気味の露出がお花の雰囲気を表現できていれば嬉しいです。

# 自己紹介

2017年に写真好きの会社の先輩に誘っていただき、紅葉を撮りに行きました。カメラを持っていなかったので、主人の PEN E-P1を借りてオールドレンズを付けて初めて撮り、マニュアルでフォーカスを合わせるのが面白くカメラを始めました。今は現代レンズで構図の特訓中です。よく撮る被写体はお花です。

# 展示会に向けて

初めて展示会に出品させていただき、プリントをしてもらえるのがとても嬉しいです。



# 「蓮(刻の移ろい)」

松浦文康 ネヴァーランドの爺 東京都

### 作品解説

蓮の花は、蕾から開花して4日で花の命を終え花弁を全て散らせ、種子の入った果托として次世代にその命を委ねる。その儚い花の一生を一枚の写真で表現することを試みた。「舞妃連」という美しい蓮が「刻の移ろい」とともに変化している一瞬を、黒い背景の中で浮かび上がる幻想的な情景として捉えてみた。蓮池で咲く花の群生の中から「時の移ろい」を感じさせる被写体を探すのだが、黒い背景に適したアングルを見出すのに大変苦労した。

### 自己紹介

退職して第二の人生を進むにあたり、その核になる趣味を探しフォトアドバイス社主催の「PHOTODAYS」に入会したのが 2015年2月。最初に取り組んだのが花写真でした。以来「花写真」の魅力に取り憑かれている。現在は、「花写真」に加え、好きな旅行を「写真旅」として日本の美しい風景、寺社仏閣を撮り歩いている。また写真は撮るだけではなく印刷して初めて価値があると言われる通り、子供・孫達に我が人生の記録として残したい思いから、写真集の制作に力を入れている。すでに製作したフォトブックは40冊を超えてしまった。素人の下手なアルバムに過ぎないのですが、写真集を作るたびに、写真技術の稚拙さを反省し更なる技術向上を目指す繰り返しを続けている昨今です。

# 展示会に向けて

展示レベルの高品質の写真にはまだまだ力不足を否めないのですが、その機会を得られるのは大変嬉しいです。フォトアドバイスに感謝します。展示会にはできる限り在廊させていただきます。また何冊か自作フォトブックを持参してみようかと思います。



# 「ガクアジサイ」

片貝好昭 かたさん 群馬県

### 作品解説

行きつけの撮影場所、ぐんまフラワーパークの外周道路で見つけたガクアジサイです。高い木々に覆われた斜面に普段見かけない鮮やかなものが多く咲いていました。この花は既にピークを過ぎ、そんな鮮やかなものだったかわかりませんが、咲き終えようとして枝垂れている姿に何か惹かれる思いがしました。アイレベルでは背景に明るい部分が出てしまうので思いっきり背伸びしても足らず、一脚をマックスに延ばして、何とか撮れました。

### 自己紹介

20代の終わりから5年ほど地域のクラブに入って写真を撮っていましたが、コンテストおたくだったためか次第に撮ることがつまらなくなり、写真をやめました。定年を迎えるころ、また写真が撮りたくなり、若い頃には目も向けなかった被写体(花)を撮り始めました。フォトアドバイスにも出会い写真講座やワークショップを受け、いろいろ学ばせて頂きました。なかでも五海先生には厳しくも温かくご指導を受け、被写体への向き合い方など多くのことを学ばせて頂きました。特に写真集の出版など貴重な体験も与えてくださり、感謝に堪えません。それから拙い作品ばかりですが、写真展(個展)をなんとか続けています。五海先生の「形はともかく作品を発表していくということは大切なことだよ」という言葉を胸に。

# 展示会に向けて

このように大都市でしかもフジフォトサロンという素晴らしい展示環境の中、フジフイルムのプリントで見て頂けること に感謝いたします。様々な被写体、様々な写真表現があろうかと思いますが、お楽しみいただければありがたいと思いま す。



「希望」

有居愛子 ai 神奈川県

### 作品解説

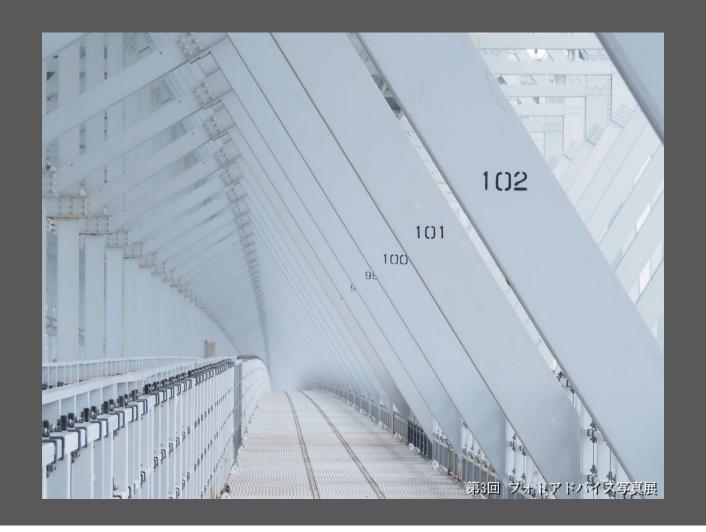
マクロレンズでの1枚。コロナ禍の世界になり、先の見えない不安な中レンズをのぞくと、その先に見えた世界はなんと美しいことでしょう。ほんの小さなマクロの世界に宇宙が広がっていました。ふさぎ込むような重苦しい日々も、一瞬で吹き飛ばすような美しさ。大丈夫。今世界は苦しんでいても希望がある。明るい明日がきっと開けてくる。そんな想いにさせてくれた1枚です。

### 自己紹介

会社勤めをしています。コロナ禍になってからは在宅勤務が通常となりました。在宅勤務になって良かった点は、通勤から解放されたので、自分の時間が多く持てるようになったことです。カメラを手にする時間もずっと増えましたし、これと思ったら、諦めずに追い込む時間もできました。もう何年も前にマクロレンズで撮られた花の写真を見て感動し、以来マクロレンズがお気に入りです。色彩そのものが持つ美しさも好きなので、鮮やかな写真が多いです。

# 展示会に向けて

写真展に出品するのは生まれて初めてで、選んで頂けたことをとても感謝しています。多くの方に作品を見て頂けるのは、 大変喜ばしく、今後の励みにもなります。展示期間中は他の方の作品も見られるので、楽しみに伺いたいと思っています。



「白の世界」

鯉江智子 かえるこ 兵庫県

### 作品解説

--写真の基本は引き算。引き算が出来ないと足し算は出来ない。初心者は入れるべきでないものまであれもこれもと画面に入れる『欲張り構図』にしてしまいがち。それは足し算とは違う---。これは、フォトアドバイスの先生がおっしゃっていたアドバイスです。この写真を撮るとき、私は「これは『欲張り構図』なんかじゃない。柱と梁だけで構図を作るのでは物足りない。通路も、手すりも、数字も、『入れた方が良い、または、あって良い』ものなんだ」と思いました。写真の足し算について、何かを掴んだ気がした瞬間でした。

### 自己紹介

2017年、旅行先で写真を撮るために、私は初めてミラーレス一眼レフを購入しました。2019年、ただシャッターを押しているだけで、良い写真が撮れていない、分からない……そんな自分に気付き、フォトアドバイスで講座受講を始めました。講座を受講してから、光が読めるようになるなど、スキルアップを実感しています。特に良かったことのひとつは、構図を学ぶうちに「私はパターン構図が好きなんだ」と発見出来たことです。今回の展示作品でも、やわらかなボケを活かしたパターン構図を意識しています。

# 展示会に向けて

ご来場くださり、誠にありがとうございます。私にとって初めての大判のプリントアウト、かつ、初めての展示会です。 私も展示会場に行くのを楽しみにしています。



# 「カモメ舞う駅」

鈴木修 シュウ 静岡県

### 作品解説

ここは、静岡県西部を走る天竜浜名湖鉄道の浜名湖佐久米駅。ホームの目の前が浜名湖で、毎年11~3月の間ユリカモメが渡ってきます。列車の時間になると、人々が餌付けをするので、カモメが集まるのです。それにあわせてシャッターをきったのですが、タイミングが難しくて、カモメのバラツキ方をうまく捉えるのにひと苦労。ローカル線ならではの風景であると同時に、浜名湖の季節の風物詩を一枚におさめることができました。

### 自己紹介

写真歴は約18年と無駄に長くなりました。(笑)2015年1月からフォトデイズに参加。毎日メンバーの方々の力作を見ながら 刺激を受けモチベーションをキープ。またオンラインの写真実践講座を受講して、様々なノウハウを教えていただきカメ ラを楽しんでいます。可能な限り1日1枚の投稿を心掛け、週末中心にカメラを持ってブラリ。カメラをはじめるきっかけ が、京都の風情(桜・紅葉)だったので、普段は風景写真を撮るのが好きです。神社仏閣や城、都会の建築物や夜景、ロー カル線や富士山を撮っています。

# 展示会に向けて

フォトアドバイス写真展は、第1回にも展示していただき、今回で2度目。カムバックできて光栄です。前回は「京都の秋」、今回は「ローカル線風景」をテーマとして表現してみました。お一人様でも多くご覧いただけたら幸いです。



# [A certain moment]

酒井保明 ys11 神奈川県

### 作品解説

逆さスカイツリーを撮ろうとしていた時に偶然背後から現れたカヌー。あわててシャッターを押したものの、あっという間にどんどん遠ざかってしまった。結局まともに撮れたのはこの一枚だけだったが、あとで見返すと、ちょうどいい感じで水面が揺らいでいるではないか。一瞬の時を止め、記録として残す写真という世界。偶然出会った瞬間を写し撮れた時の醍醐味を味わうと、もう後戻りはできない。今日もまた、あるともわからない偶然を求めて歩いている。

### 自己紹介

1963年 愛媛県松山市出身。昔から写真を撮ることは好きだったが、作品作りを意識して撮るようになったのはここ数年。 写真て何だ?を探していくうちに見えてきたもの。学ぶほどにどんどん広がり、深くなる写真の世界。これからも楽しみ ながらはまっていきたい。

# 展示会に向けて

この写真展に初めて出品することができ、とても嬉しいです。

たくさんの人に見て頂けるのがいいですね。もし興味を持ってもらえたら、是非、他の作品も見てもらいたいです。

(連絡先:ys11.ysakai@gmail.com)



# 「忘れられた遊覧船 |

浦上岳志 うらうら 京都府

### 作品解説

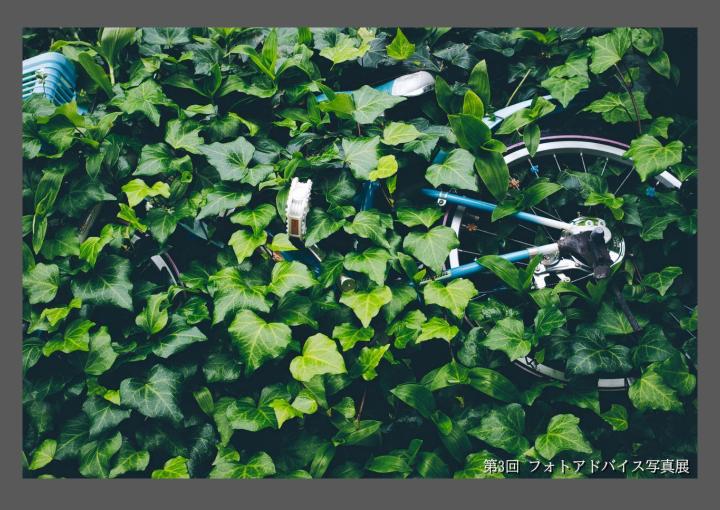
琵琶湖の東側にある西湖の夕暮れです。少し荒廃した雰囲気を漂わせた遊覧船がひっそりと係留されていました。コロナのせいで休業をしているのでしょうか。早く日常が戻ってくれることを希望します。

### 自己紹介

「感動を人に伝えることができるような写真が撮りたい。」と写真を始めました。それと同時に、PHOTODAYSにお世話になりました。PHOTODAYSの講座を受講し、先生たちからの貴重なアドバイスに耳を傾け、日々投稿を続けて4年が経ちました。「少しは、上達したのかな。」と感じています。日頃は、在住の近畿地方を中心に風景写真を撮影しています。この近畿地方には、素晴らしい風景がいっぱいあります。その素晴らしさを、もっともっと人に伝えられるようになりたいと思っています。

# 展示会に向けて

第3回 フォトアドバイス写真展に出展できることを光栄に思っております。選出いただき、本当にありがとうございます。 また、様々な人の作品を拝見したり、ご意見を伺えることをとても楽しみにしております。



# 「ツツマレテ」

河辺直樹 Naoking 広島県

# 作品解説

どのくらいの時間でこうなったのだろう。

誰が乗っていてこの自転車と共にどんなドラマを経験したのだろう。

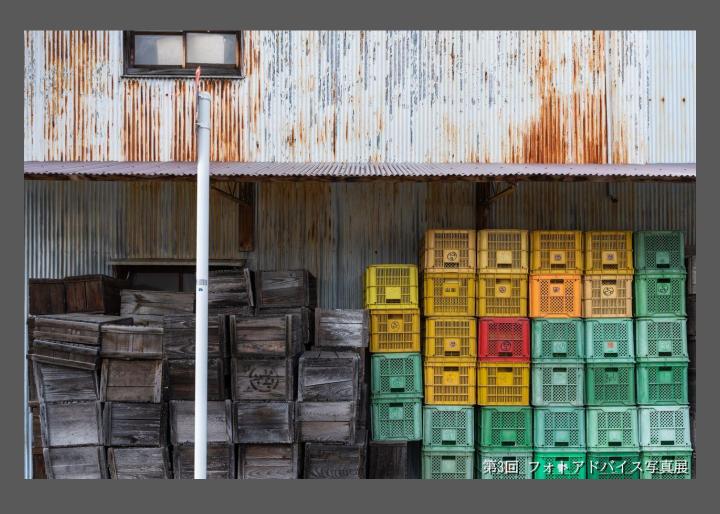
放置自転車なのかもしれないけど、葉に優しくツツマレテいる姿に愛情を感じた。

# 自己紹介

「心動かされた瞬間」を止めて保存できる。そんな写真の魅力に取り憑かれて十数年が経ちました。「これを撮りたい」と感じてシャッターを切ることもあれば、「なぜ、シャッターを切ったのだろう?」と自分でも分からない一枚も。自分自身の価値観の確認と発見、その両方と向き合える写真は人生のライフワークです。

# 展示会に向けて

誰かに見せるために撮った作品ではありませんが、逆に言えば、自分の素が出ている一枚です。 写真を通じて、皆さまとの心のやり取りができれば、これほど幸せなことはありません。



# 「誰がために」

堀尾好文 花鳥風月 愛知県

### 作品解説

瀬戸物を入れる木箱は雑然と積まれていますが、カラーケースはきちんと積まれていることがとても面白かったです。そして止まれの標識の存在感がまた面白かったです。 もっと引きで撮れるなら良かったですが、駐車場の柵に阻まれて、これ以上後退できずに撮った写真です。私たちが小学生時、運動場での並び方が木箱なら、今の小学生はカラーケースです。孫の運動会に行くと先生が必死に声をかけて整列させている光景が浮かび思わず吹き出してしまいました。大体でいいのではと思います(笑)。木箱の雑然さとカラーケースの正確さに面白いギャップを感じ、被写体を発見することの面白さに病みつきです。

### 自己紹介

写真歴5年の初心者です。

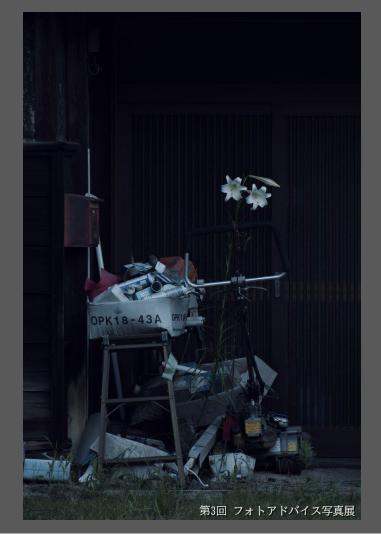
街を歩きながら「人の営み」を探して撮影しています。

生活感のある被写体を発見し、どう表現していくのか、奥が深いからとても楽しいです。

これからもシャッターが押せなくなるまで撮ろうと思っています。

# 展示会に向けて

被写体は身近なところに溢れていることを知っていただければ幸いです。



「山郷の語り (ユリ)」 酒井保 かい 岐阜県

田舎にある空き家の玄関前に無造作に置かれたごみの中から咲くユリがとても綺麗でした。また、この光景を見たときに、 人の営みが潰えればその痕跡はいとも簡単に自然の中に埋もれていってしまうのではないかと思いました。

# 自己紹介

デジタルで写真を撮るようになって7年ほどになりますが、ここ数年は自分の生まれ育った田舎の風景を記録しておこうと思い、撮り続けています。そして、撮り続けているうちに被写体はあらゆるところあるのだということに気づき、日々撮影を楽しんでおります。

# 展示会に向けて

3回連続で出展させていただけることは、とても光栄であり嬉しく思います。大変地味な作品なので、他の出展される皆様の作品の影に隠れてしまいますが、見ていただいた方々が何かを感じていただければ幸いです。



「**龍と龍**」 樫村康宏 かっしー 茨城県

写真実践講座~標準レンズ~に提出させていただいた写真になります。手水舎の龍の質感はどうすればいいか、どの時間帯ならいい光があたるかなど初心者なりに試行錯誤して撮ってみました。撮影期間は2ヶ月、撮った枚数は約3000枚になりましたが、はじめて写真と呼べるものが撮れたのではないかと思います。

# 自己紹介

カメラ歴は約2年です。油絵を描いていた祖父が亡くなった後、私自身何か作品と呼べるものを形に遺したいと思ったのが カメラをはじめるきっかけでした。神社仏閣巡りが好きなので手水舎だったり、近くの湖の写真をよく撮っています。標 準レンズ講座から写真デビューしたような感じで、まだまだ解らないことばかりですが、よろしくお願いします。

# 展示会に向けて

これまで展示会やコンテストといったものは意識してきませんでしたが、今回縁があり応募させていただきました。何が 感じることがあれば今後に活かしていくために良い点でも、悪い点でも教えていただけると嬉しいです。



「**刻**」 小林宏一 koko 東京都

タイトルの「刻」という文字は「とき」とも「きざ(む)」とも読めます。藤棚越しに光が差し込み、柱やベンチの陰影が、あたかも時を刻む節目のように見えました。移ろいゆく時間の中、大切な人と共に歩んできて、今、光溢れる場所に居る人の情景を表現しました。

# 自己紹介

心に留まったもの、例えば旅先で出会った感動的な風景や、日常の中のふとした一瞬といった、自分が感じた非日常のかけらを切り撮って、伝えることができたら、と思っています。そんな写真を撮れるようになりたくて、2020年2月にPHOTODAYSに入会しました。

# 展示会に向けて

初めての展示会出展になります。展示会を通じて、そして皆さんの作品から刺激を頂きたい、と思っています。



「蜘蛛の宇宙」

満尾清志 みつお 京都府

### 作品解説

僕は自分の写真に解説を付けるのはあまり好きではありません。写真を見た人の自由な想像を妨げるように感じるからです。ですが、解説しておきます。花の撮影が好きでマクロレンズを持ってよく植物園に行きます。花を探して歩いているときに木漏れ日の中で光っているものを見つけました。クモの巣です。ファインダーを覗くと肉眼では見えなかった虹色の光が目に飛び込んできます。風が吹くとそれは形を変え光の吹雪のようにも見えます。その面白さに時間を忘れて何枚も撮りました。クモが巣で獲物を待ってるというより光のかけらを集めているようです。

# 自己紹介

何でも撮りたい何でも屋ですが特に好きなのは花のマクロ撮影、野鳥の超望遠撮影です。クモの巣の撮影は花のマクロ撮影の延長上にあります。この二つの撮影は僕を夢中にさせてくれます。夢中ですから無意識に近く、考えるより感覚で撮っているような感じです。花のマクロ撮影にはまり始めたころはいろいろ考えながら、三脚を使って撮っていました。、そのうちに三脚が一脚になり、考え半分になり・・・・、今では手持ち撮影、考え一分、体を前後左右に動かしながら撮ってます。あっ、シャッターを切る時は体も息も止まってます。たまに息を止めすぎてクラッときます。

# 展示会に向けて

自分の作品を多くの人に見てもらえるのはすごく光栄なことです。でもそれ以上にほかの皆さんの作品を見せていただくのが楽しみです。普段はPCの小さな画面で見ているのでA2印刷での写真は力強さを感じると思います。印刷を意識して高画素機で撮っているのでぜひそれを感じて欲しいです。



「**潤す**」 矢崎義国 Yossy25 長野県

冬の足音が聞こえて来そうな晩秋、来るべき冬に備えてクルミを探しては土の中に埋めたり、いくつかのクルミを食べたりしています。たとえ寒くても喉は渇きます。石の凹んだ場所にたまった水を飲み、渇きを潤します。長い時間飲むわけではありませんので、飲みそうな気配があれば、光の射し具合や背景を考えながら位置取りをしました。

# 自己紹介

ニックネームはYossy 25 と申します。PHOTODAYSには2015年から参加させていただいています。身近なところに野生のリスが生息しているので、2017年の12月から本格的にニホンリス(ホンドリス)の撮影に集中しています。最初は生態が分からず、先輩方から情報を得る中で、自分なりに知識が増えていきました。最初は撮るだけで精一杯だったのですが、次第に作品性を考えられるように少し余裕が出てきましたが、相手は野生なのでそう簡単にはいきません。

# 展示会に向けて

今回第3回写真展ですが、おかげさまで3作品目の展示に選出していただき有り難うございました。3作品とも別の角度からの視点ですので、大変光栄に思います。



# [Wonderland]

城阪智子 TK 京都府

### 作品解説

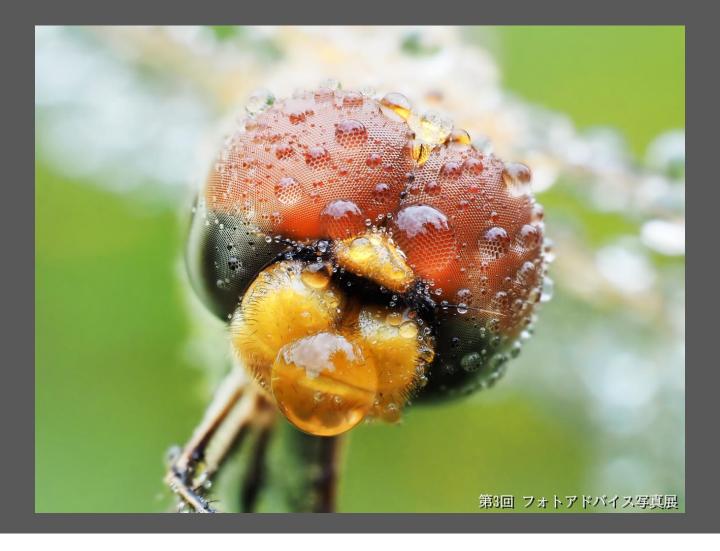
2020年11月29日 晩秋の奈良に早朝から出かけました。森の中に紅葉の絨毯が木漏れ日に輝いているところがありました。鹿と紅葉をテーマに撮っていましたが、鹿が来るとどうしても追いかけてしまい、構図が疎かになるので、近くにいた鹿がこの場所に来るのを待ちました。幸い一頭がやってきて、さらにもう一頭が現れ威嚇するように立ち上がった瞬間はアッと息を呑みましたが夢中でシャッターを切りました。鹿の体をラインライトが形どり、まるでおとぎの世界の出来事のようでした。この瞬間を撮れたことは本当に幸運でした。

### 自己紹介

訪日外国人観光客を案内する仕事の中で、海外の写真家(プロ、アマチュア)のツアーを毎年担当するようになり、初めて一眼レフカメラを購入しました。でも本格的な勉強は引退後の楽しみにするつもりでした。2020年春、コロナによりストップしたインバウンドが回復する目処が立たないため、今がチャンスとフォトアドバイスで講座受講を始めました。風景、花、ポートレートが好きですが、チャンスがあればいろんなものを撮ってみたいと思っています。今は写真という趣味があること、教えて頂ける先生や一緒に楽しめるお仲間の皆さんがいて、本当に良かったと思っています。

# 展示会に向けて

写真歴が浅いにもかかわらず、出展作品に選んでいただけて大変光栄に思っています。たくさんの仲間や先生の作品と並べて頂けること、いろんな方に見て頂けることは何よりの思い出になり、またこれからの励みにもなります。お越しいただきありがとうございました!



「チュウしよう♪」 平井たき子 shamie 埼玉県

この作品は、2020年にマクロ講座を受講した際に撮ったものです。身近で撮れるものを探してみると、様々な昆虫たちがいることに気づきました。撮って見ると本当に面白くて、すっかり虜になりました。講座ではトリミング禁止と聞いて、最初は戸惑いました。でも、頑張って撮ったおかげで自信も付きました。そして寄って撮るコツを教えて頂いたので、今まで無理と思っていたものも撮れるようになりました。中間リングを付けて、よりアップで撮ることを目指して撮った一枚です。また、カメラはマイクロフォーサーズなのでマクロ撮影に向いていたことも幸いでした。更に深度合成という機能があり、強力にサポートしてくれました。

#### 自己紹介

# 展示会に向けて

写真展に参加出来て大変光栄です。

毎日必死になって追い続けたマクロ作品を、是非皆さんに観て頂きたいと切望致します。



# 「陽だまりのオフィーリア」

髙橋淳 sushi 千葉県

### 作品解説

ハムレットの登場人物であるオフィーリアは、ミレーの描いた絵画でよく知られています。ミレーはハムレットに父親を 殺されたことに絶望したオフィーリアが川に身を投げた場面を描いています。このモチーフはよく知られていて、水濡れ ポートレートでもよく用いられていると思います。この作品では、そのテーマをイメージしながらも、明るい日差しが 入ってきていることから生と死の反転、生きることへの渇望という錯綜した願いを表現したいと思いました。光源を下に 配置するようにレイアウトしたことで、不安定なオフィーリアの心情を表したつもりです。

### 自己紹介

カメラはフィルム時代にNIKONOSを含めて使っていましたが、今のようなフォトライフはフォトアドバイスとともに始まったように思います。フォトアドバイスさんとのお付き合いは、ごく初期のDVD第1号からになります。古株ですね。最初は中村先生のポートレート撮影会、ダイヤモンド富士、その後、五海先生の花撮影WS、シンガポール花撮影会、村田先生の上高地撮影会などを経て現在に至っています。今は、撮影の手間や自由度からポートレート撮影主体ですが、機会があれば花撮影や野生撮影なども好んで行っています。

# 展示会に向けて

この作品は、私の運命のモデルさんである奈良岬さんにリクエストして、自分のしつらえで企画したものです。スタジオの光の条件を模索しながらコントラストを活かした撮影を工夫しました。フォトアドバイスではポートレート作品は少数派ですが、楽しんでいただければ幸いです。



# 「staff notation」 侘美亜美 ami 東京都

### 作品解説

スポットライトを浴びながら、音と向き合う姿。拍手を浴びながら、観客に見せる笑顔。リハーサル時に本番では見せない、サウンドチェックをする真剣な様子。ミュージシャンには色んな顔があり「あぁ・・これが彼の本来の姿なんだな・・」って感じることがある。彼は若い頃、倒れて病院に運ばれた経緯がある。それは危険な状態だった。現在、自由にギターを弾いている彼は「今、自分は余生を生きている」と言っていた。生かされてるから自由な心でいられる。彼の音楽を聞くと、いつもそう感じる。彼が階段に座ったときの視線は遠かったけれども穏やかだった。私はそのまま撮影した。

### 自己紹介

# 楽譜浄書家

高校から写真に興味を持つ。大学ではピアノ専攻、即興演奏、アレンジ、作曲、身体表現等、聴覚と視覚の両面による音楽表現を学ぶ。音楽と写真の両面から表現の基礎と、その延長にある逸脱を考えるようになる。ネットワークにより多種多様な写真を目にする機会も増え、写真概論に興味を持ちフォトアドバイスに参加。自分の目に"写った"ものがなぜ気になり、自分にはどう見えているのか、そして誰にとってどのような意味を持つシーンなのか、写真の基礎を踏まえた上で、直感的に感じた絵をどう再現し表現し伝えるか、心理的側面も含めてこれからも追求していきたいです。

# 展示会に向けて

第1回、2回に続き、3回目の写真展に参加できることを嬉しく思います。また、開催にあたり、選別・審査してくださった先生方に感謝申し上げます。会場で皆さんとお会いできるのを楽しみにしております。



# 「祖父ちゃんの夢」

倉戸啓子 あけび 京都府

# 作品解説

これは、講座「身近な風景」の提出作品として撮りました。明治時代に建てられた実家の床下から出てきた「通い徳利」です。今のように清酒が瓶詰めで販売される前は角樽に入れたものや通い徳利=マイボトルを持参して量り売りで販売されていたようで徳利には実家の屋号が書かれています。大きくて窓が少なくて、昼間も薄暗かった実家の板の間で祖父と父が漬物をさかなに晩酌しているところをイメージして再現してみました。実際には祖父は父が2歳の時にスペイン風邪で亡くなり2人がこうして晩酌することはなかったのですが祖父は父が生まれたときこんなふうに、成人した父と晩酌することを夢見たかもしれないと想像しました。

### 自己紹介

つれあいの趣味もあってフィルムカメラの時代から一眼レフのカメラで子ども達の学校行事や旅先のスナップなどを撮っていました。子ども達が成人して独り立ちし、つれあいが旅立った後、花や風景をまた撮り始めたのですが今更ながらいい加減な撮り方しかできていないことに気がつきました。そんな中でフォトアドバイスと出合い2016年からフォトデイズに仲間入りさせていただきました。ふだんは道端の草花や朝露の水滴や霜などの小さな世界をマクロレンズで追いかけています。身近なところで好きなものを撮りながらできるだけ長く写真を続けていけたらと思っています。

# 展示会に向けて

第1回、第2回に続き今回も選出していただき光栄です。

前2回は水滴を撮ったマクロレンズの作品でしたが、

この作品を撮ったことで、自分の写真の世界が少し広がったように思います。



雨の日の朝、普段なら車に乗り込みとすぐにエンジンをかけてワイパーでフロントガラスの雨滴を払って出かけてしまうのですが、この日はなんとなく憂鬱な気分でした。すぐにエンジンをかけずにスマホをダッシュボードに置き、フロントガラスを流れる水滴をボ〜っと眺めていました。ふとスマホを見ると黒い画面に水滴が映り込んでいて・・コレは面白いかも!?と思って撮った写真でした。スマホに映り込んだ水滴にピントを合わせ、スマホの縁がぼやけて水滴が浮かび上がるように絞り開放で撮影、現像はモノクロで、カラーグレーディングでちょっぴり青を入れてモノトーン風に仕上げました。(マクロレンズ使用)

#### 自己紹介

ハナこと鑓田龍郎と申します。第3回フォトアドバイス写真展の展示作品に選出して頂き光栄に思います。友人が撮影した霧風景の写真に感動・・こんな感動的な写真を自分も撮ってみたい・・それをきっかに写真を撮り始めて5年半ほどになります。今までは風景、花、鳥などをメインに撮影してきましたが、これといったテーマ・ジャンルは決めずに好きなものは何でも撮ってきました。これからは今まで学んで培った経験を全てつぎ込み、テーマを決めて写真に取り組みたいと思うようになりました。まだまだ知らないことも多く精進を続けていかなければなりませんが、焦らず楽しみながら写真を撮り続けていきたいと思います。いつか渾身の一枚を撮れるように。。

# 展示会に向けて

短時間でありますが東京会場と名古屋会場へ在廊させていただく予定です。皆様とお会い出来ることを楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします。



# 「幻想の世界」

三野輪和篁 minoチャン 千葉県

# 作品解説

満開の山桜の巨木と北天を絡めて作品を撮れないかと講座の受講を決めた時からイメージしていた場所でした。桜の開花 状況と天気予報を毎日チェックしながらその時を待ちました。自宅から片道3時間かけて2日続けて訪れ、当日は快晴、 無風の絶好の天気に恵まれ5時間の撮影でしたが時間を忘れるほどの絶景でした。バルブ撮影、インターバル撮影、フ ラッシュ撮影とたくさんのカメラマンがおりました。車のライト、撮影の点灯、フラッシュ等いろいろな明かりがあり、 星空と背景を合わせ明暗差の解消をしました。木と葉の明暗差の解消は極めて難しいです。来年はこの場所で天の川と山 桜の撮影をしたいと思います。\*撮影場所:福島県古殿町、越代の桜"

### 自己紹介

60歳でリタイア後はゴルフ、旅行等の趣味を楽しんでおりました。写真は旅行時のスナップのみでしたが、70歳を過ぎた頃からゴルフを止めた後に趣味としてカメラをやろうと考えフォトアドバイスに出会いました(6年半前)。全くの素人が手当たり次第に講座を受講しながら少しづつ前に進むことが出来ました、今ではPD仲間との交流があり楽しい写真生活を送っております。良く撮る被写体は風景、花が多いですね。その時その場所にいることが大切であるを胸に体力、気力の続く限りシャッターを押したいと思っています。

# 展示会に向けて

村田先生の星景講座を受講して星景写真の素晴らしさを実感しました。今まで経験をしたことのない写真の世界に入れたことに驚きました、夜の撮影は厳しいですがそれ以上の感動があります。拙い星景写真ですが私がその場で味わった感動を一人でも多くの方に味わっていただければ幸いです。



# 「眠りに就く新幹線」

若林紀男 ぽんこつ父ちゃん 長野県

### 作品解説

星景講座の作品撮影の為に、2019年の水害で新幹線車両基地にあった全車両120両が廃車処分となった北陸新幹線長沼車両基地に数回通い撮影しました。点検終了後車両基地に戻ってくる新幹線車両の配置が日によって違うため、一番カッコ良く見える日を選びました。一日の運行が終わり、所定の位置に何編成も整然と停車した様子に圧倒されました。一編成だけ入線直後で、車内灯が点いた状態のものを入れました。

### 自己紹介

フォトアドバイスに入会したのは2014年で、花撮影講座が最初でした。その後いくつかの講座を受講しました。特に星景講座は、3回目となります。当初の頃の写真と比べるとかなり進歩したと思います。投稿枚数は少ないですが、毎日皆さんの投稿作品を見ながら、勉強させてもらっています。

# 展示会に向けて

多くの作品の中から展示作品に選出して頂き光栄です。自分の作品を、この機会に多くの方に見て頂き、私が撮影時にこの車両基地で感じた感動が少しでも伝われば幸いです。



「名古屋車両区転車台」

河野哲 ぱぴ 愛知県

### 作品解説

名古屋車両区転車台 夜景。夜、転車台に電車が入ってくる光景は電車や作業場の光が溢れ、感動ものです。この明るい光の中でいかに星をおり混ぜる事ができるか?綺麗な仕上げが出来るか?試行錯誤した中でなんとか形になりました。この地上風景と星とのコラボを何とか作品に出来たことは、とても嬉しいものでした。まだまだ、改善したいことは多々ありますが、今後も転車台と共に成長して行きたいと思う作品です。

### 自己紹介

風景、星景を主に撮っています。休みの日は、ほぼ毎回カメラ片手に出かけています。以前は旅行が趣味だったのが、今では行き先を決めるのは、どんな写真が撮れるか?が行き先の判断基準になりました。光の具合を見ながらどんな写真が撮れるか考えてイメージして現場に行き、なかなかイメージ通り撮らせて貰えない事ばかりですが、一回一回経験を積み上げている最中です。

# 展示会に向けて

今回、数ある優秀な作品の末席に加えていただき有難うございました。 この評価を今後の励みにして、ますます精進して行きたいと思います。



「竜の眼」

山岸正明 ゆひまぱ 福井県

### 作品解説

福井県越前海岸にある「呼鳥門」は岩が風や波に侵食され出来た洞穴で、以前は国道が走る天然トンネルでした。今は崩落の危険から立ち入り禁止になっています。そのトンネルと奥の岩が重なってシルエットになった時、「竜の眼」が現れます(もちろん私の個人的な見解ですが)。星景写真を撮るにあたり、眼の中に星の軌跡が写るかが心配でしたが、無事写り納得の一枚になりました。

### 自己紹介

私が星景写真を撮るようになったのは2021年9月開講の写真実践塾〜星景〜を受講したのがきっかけです。興味はあったものの全くの初心者だった私でしたが、村田講師の講義動画と毎月の添削とご指導のお陰で一通り星景写真が撮れるようになりました。講師はじめフォトアドバイスには心から感謝申し上げます。星景写真は主役は星ですが、地上風景が大事と教えていただいています。この地上風景探しが難しい所ですが、今回のように納得の一枚が撮れた時の喜びは格別です。まだまだ未熟ですが一枚でもいい写真が撮れるよう努力していきたいと思います。

# 展示会に向けて

今回三か所の会場での開催ということで多くの方にご覧いただければ幸いです。。



「山中の朝」

佐伯 幸敏 ユキ@西条 愛媛県

### 作品解説

昨晩の雨も上がり、今日は上天気。あたり一面に暖かい陽が降り注いでいました。古屋の存在感と朝の雰囲気が表現できていれば幸いです。このような情景が撮れたのですが、帰宅してパソコンで確認したところ、薄っすらとゴーストが発生。残念に思い、3日後同じような気象条件になったため、同地へ行ったところ幸いにも同情景が見られ、今度は保護フィルターを取り外して撮影しました。以後、この写真について、改善のための現像を約7回繰り返しました。モノクロ写真の難しさを知った中の一枚です。

### 自己紹介

高校生の時から、フィルムカメラでの撮影を始め、デジタルカメラが出るとそれに乗り換え、主に家族、親戚、友人、と身の回りの写真を撮っていました。全て自己流でした。2014年くらいだと思いますが、フォトアドバイスの存在を知りDVDを購入。2014年9月からフォトデイズへの投稿を始めました。講座は沢山受講しましたが、なかなか進歩しないのが悩みの種です。

# 展示会に向けて

遠路から来られた方々は当然のこと、わたくしの写真を見てくださった皆様に感謝申し上げます。



# 「しぶき氷」

藤田英治藤田@淡海 滋賀県

### 作品解説

数年ぶりの寒波と強風により1/8~1/10の琵琶湖湖岸に、波しぶきによる結氷が出現。前日にも撮影していますがこの1/9が踏まれることもなくベストな状況。琵琶湖の南(南湖)では珍しい自然の結氷。撮影日時:2021年1月9日14:48。

### 自己紹介

サラリーマンを2014年3月に卒業。デジー眼を買った機会に無料メルマガからセミナーDVDを購入し、「PHOTODAYS」に参加。2015年春からワークショップのサポートスタッフをしています。撮影対象はいわゆる何でも屋で、特にワークショップやフォト活で皆さんとご一緒できることを楽しみにしています。2013年春にステージIIの肝細胞癌が人間ドックのオプション検査で判明し摘出手術、II5年後にも再発、II2021年にII2回目の摘出手術。これからもガンサバイバーですが、明日も写真を楽しく前に進みたいと思っています。特に五海先生の沖縄II8、花展示コース、五海塾が忘れられない受講となっています。

# 展示会に向けて

自然が織りなすドラマチックで二度とない「風景・造形」に出会え撮影することができました。これからも1日1日を大切に皆さんと写真を楽しみたいと思っています。



# 「撮時記 北上の岸辺」 菅原博文 清之介 岩手県

# 作品解説

霧と霧氷に包まれた北上川の岸辺。何度も通っている地元(岩手県一関市)の身近な場所で、幻想的なシーンに出会えました。放射冷却現象の発生が予測されたこの日の最低気温は、氷点下13°。眠気も吹き飛ぶ寒さの中、自宅から車で12~3分の撮影地に到着したのは夜明け前。防寒着に身を包み、撮影機材をセットしてその時を待ちます。氷点下13°の野外は、機材も人も凍り付かせますが、やがて視界が明るくなると、目の前には期待していた以上の光景が広がり始め、寒さなど何処へやらです!「その時、その場所にいること。」フォトデイズのこの教えがあればこそ出会えた、この一枚。今も、これからも私の指針であり続けます。

#### 自己紹介

風景を撮りたいと、2015年9月に初めてデジイチを購入するも、あまりの下手くそさにガッカリ!上手くなりたいと彷徨っていて出会ったのが「フォトアドバイス無料メール講座」。始めの印象は「怪しい」、でも、無料メールならと申し込んでみたら、まぁ、丁寧な内容。流れでDVDを買ってみたら、それが中村先生の「その時、その場所にいること。」を教えてくれた運命の一枚でした。そこから今日までフォトデイズにどっぷり。ついでに言うと、フォトデイズのせいで「写真に集中したい!」と、会社員生活二年半を残して早期退職した馬鹿者です。(笑)

# 展示会に向けて

東北の四季が一人でも多くの皆様の目にとまるよう、これからも精進してまいります。本日はご来場くださり、誠にありがとうございました。



# 「往古(いにしえ)の響き |

川西哲詩 テッチャン 兵庫県

### 作品解説

エジソンによって蓄音機が発明されるまでの短い生涯と言われたオルゴールの歴史。オルゴール産業の衰退と共にほとんどが姿を消して行きました。しかし、ギド・リュージュは、オルゴール産業の復活に全精力を傾け、リュージュ社を世界最高のオルゴールメーカーとして、奇跡的な再起・成功へと導いたのです。オルゴールの伝統を現在に伝える象徴とも云うべき存在です。現代によみがえった可愛い5インチのディスクオルゴールをモノクロ写真に収めました。

### 自己紹介

中学生の時に親父のCanonFTを借りて写真を撮り始めたのがきっかけです。以降、写真に興味を持ち高校生の時にモノクロの現像、引延ばしを教えてもらい大学、社会人と押入暗室でフィルム写真を続けていました。またこの頃から中判に憧れ、アルバイトで中判カメラを手に入れて特に京都の写真を撮っていました。デジタルカメラの時代になっても銀塩写真を長くやっていました。デジタルへの転換は職場の後輩に勧められたのがきっかけです。2020年5月にPhotodysで出合い今に至ります。全くの我流だったので、今なお苦労しながら(楽しみながら)勉強中であります。

### 展示会に向けて

展示会に参加させていただく機会は、「写真実践講座〜モノクロ写真〜2021.5」で宇井先生にデジタルでモノクロ写真の撮影技術から現像を含めた講座で学ばせていただいたのがきっかけです。とても丁寧に教えていただき、最後まで妥協することなく作品作りに取り組ませていただきました。今回はその提出作品を展示していただくことになりました。展示会への出展は高校の文化祭の経験しかなく、今回のような大規模な展示会は初めてです。皆さんに見ていただくという貴重なチャンスに恵まれ、より一層写真の楽しみを広げたいと思います。



# [Night, Walking: Tsukiji]

石田省三郎 showishida 神奈川県

### 作品解説

電気がつくり出す光景をテーマにしたシリーズの作品の一つ。ひとが電力を手にしたのは、そんなに昔のことではない。200年にも満たない間に、ひとが生きるためになくてはならないものになった。だが、この電気をつくるために、初めは水力であったが、その後火力に、そしてついに原子力に頼るようになってしまった。しかし原子力発電が、取り返しのつかない危険性を孕んでいることは、チェルノブイリ、スリーマイルそして福島の惨状を見れば、明白である。火力発電も、二酸化炭素の排出により地球環境に深刻な影響を及ぼしていることに、われわれは気づかされた。必要不可欠なものをつくり出す手段が、人間に致命的になる矛盾。この矛盾が克服されなければ、ほんとうの未来は始まらない。

# 自己紹介

1946年生まれ。弁護士業務のかたわら、2017年、京都造形芸術大学(現・京都芸術大学)写真コース卒業。2018年、福島第一原子力発電所事故により「帰還宅困難区域」に指定された地域をJR常磐線代行バスから撮影した写真集『Radiation Buscape』(デザイン鈴木一誌+山川昌悟、解説タカザワケンジ)刊行。個展に「Crossing Ray」(HIJU Gallery、大阪、2019)、「TSUKIJI JONAI 2018」(IG Photo Gallery、2020)ほか。2021年、第56回神奈川県美術展写真部門準大賞受賞。WEBサイト http://showishida.jp/

# 展示会に向けて

フォトアドバイスは、写真を始めるきっかけでした。

故五海ゆうじ先生には大変お世話なりました。先生をしのんで参加させていただきます。